



2022年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年2月4日

上場会社名 キックマン株式会社

上場取引所 東

コード番号 2801 URL <https://www.kikkoman.com/jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 祥三郎

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 臼井 一起 TEL 03-5521-5811

四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	384,860	17.9	44,266	27.6	43,184	23.7	46,511	28.9	33,354	28.7	40,777	92.9
2021年3月期第3四半期	326,527	-	34,697	-	34,906	-	36,069	-	25,921	-	21,138	-

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	173.96	-
2021年3月期第3四半期	135.03	-

(注) 1. 当社グループは2021年3月期からIFRSを適用しております。そのため、2021年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 事業利益は、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除した段階利益です。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	471,001	342,726	336,816	71.5
2021年3月期	438,508	313,514	308,130	70.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	-	21.00	-	24.00	45.00
2022年3月期	-	22.00	-	-	-
2022年3月期（予想）	-	-	-	23.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	493,800	12.4	49,700	16.5	48,200	15.7	51,300	18.8	36,400	16.8	189.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	193,883,202株	2021年3月期	193,883,202株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	2,266,497株	2021年3月期	1,911,533株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	191,737,256株	2021年3月期3Q	191,973,625株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

第3四半期決算補足説明資料は、T D n e t で本日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期における世界経済は、景気に持ち直しの動きが見られるものの、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響は続いており、依然として厳しい状況にありました。

そのような状況の中で、当社グループの売上は、国内については、食品、酒類が堅調に推移し、しょうゆ、飲料は前年同期に及ばなかったものの、食料品製造・販売事業全体で前年同期を上回りました。海外については、食料品製造・販売及び食料品卸売事業ともに好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

その結果、当第3四半期の連結業績は次の通りとなりました。

<連結業績>

(単位:百万円, %)

区 分	前年同四半期		当第3四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除	
	2020年4月1日～ 2020年12月31日		2021年4月1日～ 2021年12月31日		金 額	%	売上 比差		金 額	%
	金 額	売上比	金 額	売上比						
売 上 収 益	326,527	100.0	384,860	100.0	58,332	117.9	—	15,210	43,122	113.2
事 業 利 益	34,697	10.6	44,266	11.5	9,568	127.6	0.9	1,834	7,733	122.3
営 業 利 益	34,906	10.7	43,184	11.2	8,277	123.7	0.5	1,645	6,631	119.0
税引前四半期利益	36,069	11.0	46,511	12.1	10,441	128.9	1.1	1,640	8,801	124.4
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	25,921	7.9	33,354	8.7	7,432	128.7	0.8	1,220	6,212	124.0
USD	105.87		111.38		5.51					
EUR	122.30		130.85		8.55					

<報告セグメント>

(単位:百万円, %)

区 分	前年同四半期		当第3四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除		
	2020年4月1日～ 2020年12月31日		2021年4月1日～ 2021年12月31日		金 額	%	売上 比差		金 額	%	
	金 額	売上比	金 額	売上比							
国内 食料品製造 ・販売	売上収益	115,229	100.0	116,461	100.0	1,231	101.1	—	1,231	101.1	
	事業利益	10,531	9.1	11,178	9.6	647	106.2	0.5	—	647	106.2
国内 その他	売上収益	15,980	100.0	16,179	100.0	198	101.2	—	198	101.2	
	事業利益	1,466	9.2	1,449	9.0	△16	98.9	△0.2	—	△16	98.9
海外 食料品製造 ・販売	売上収益	74,076	100.0	85,778	100.0	11,702	115.8	—	4,656	7,045	109.5
	事業利益	15,562	21.0	18,296	21.3	2,733	117.6	0.3	925	1,808	111.6
海外 食料品卸売	売上収益	143,313	100.0	190,741	100.0	47,428	133.1	—	11,129	36,299	125.3
	事業利益	7,776	5.4	13,868	7.3	6,092	178.3	1.9	778	5,313	168.3
調整額	売上収益	△22,071	100.0	△24,299	100.0	△2,227	—	—	△575	△1,652	—
	事業利益	△638	—	△528	—	110	—	—	130	△20	—
連 結	売上収益	326,527	100.0	384,860	100.0	58,332	117.9	—	15,210	43,122	113.2
	事業利益	34,697	10.6	44,266	11.5	9,568	127.6	0.9	1,834	7,733	122.3
USD	105.87		111.38		5.51						
EUR	122.30		130.85		8.55						

各事業別セグメントの業績の概要は次の通りであります。

【国内】

国内における売上の概要は次の通りであります。

(国内 食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、つゆ・たれ・デルモンテ調味料等の食品部門、豆乳飲料・デルモンテ飲料等の飲料部門、みりん・ワイン等の酒類部門からなり、国内において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

■しょうゆ部門

しょうゆは、家庭用分野では、テレビ宣伝を中心とした商品の付加価値を伝えるマーケティング施策等により「いつでも新鮮」シリーズは前年同期を上回りましたが、「特選 丸大豆しょうゆ」などのペットボトル品が前年を下回り、家庭用分野全体として前年同期を下回りました。加工・業務用分野は、前年の新型コロナウイルス感染症の影響から回復し、前年同期を上回りました。この結果、部門全体としては前年同期の売上を下回りました。

■食品部門

つゆ類は、ストレートタイプつゆの「具麺」シリーズ、白だしが好調に推移しましたが、全体では前年同期並みになりました。たれ類は、主力商品である「わが家は焼肉屋さん」が堅調に推移し、前年同期を上回りました。「うちのごはん」は、21年2月発売の新シリーズ「肉おかずの素」の売上が好調に推移し、前年同期を上回りました。デルモンテ調味料は、家庭用分野が苦戦したものの、加工・業務用分野が増加し、前年同期を上回りました。この結果、部門全体としては前年同期の売上を上回りました。

■飲料部門

豆乳飲料は、健康志向の高まりを背景に需要が拡大し、飲用だけでなく料理素材として豆乳を使う消費者も増えております。特定保健用食品の商品や無調整豆乳を中心として売上が伸び、全体で前年同期の売上を上回りました。デルモンテ飲料は、トマトジュースが振るわず、前年同期の売上を下回りました。この結果、部門全体としては前年同期の売上を下回りました。

■酒類部門

本みりんは、家庭用分野では、「濃厚熟成本みりん」、高付加価値商品の「米麴こだわり仕込み本みりん」などが売上を伸ばし、加工・業務用分野でも大型容器が増加し、前年同期を上回りました。ワインは前年同期を上回りました。この結果、部門全体としては前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、国内 食料品製造・販売事業の売上収益は1,164億6千1百万円（前年同期比101.1%）、事業利益は111億7千8百万円（前年同期比106.2%）と、増収増益となりました。

(国内 その他事業)

当事業は、臨床診断用酵素・衛生検査薬、ヒアルロン酸等の製造・販売、不動産賃貸及び運送事業、グループ会社内への間接業務の提供等を行っております。

臨床診断用酵素は需要が回復したこともあり、前年同期の売上を上回りました。

この結果、部門全体としては前年同期の売上を上回りました。

この結果、国内 その他事業の売上収益は161億7千9百万円（前年同期比101.2%）、事業利益は14億4千9百万円（前年同期比98.9%）と、増収減益となりました。

【海外】

海外における売上の概要は次の通りであります。

(海外 食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、デルモンテ部門、海外における健康食品等のその他食料品部門からなり、海外において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

■しょうゆ部門

北米市場においては、家庭用分野では、主力商品であるしょうゆに加え、しょうゆをベースとした調味料などの拡充に引き続き力を入れており、当社のブランド力を活かした事業展開を行ってまいりました。また、加工・業務用分野では顧客のニーズに合わせたきめ細かな対応をし、事業の拡大を図りました。この結果、前年同期の売上を上回りました。

欧州市場においては、主要市場であるドイツ、オランダ、イタリアなどで売上を伸ばし、前年同期の売上を上回りました。

アジア・オセアニア市場においては、中国市場では前年の新型コロナウイルス感染症の影響から回復したことにより、前年同期の売上を上回りました。また、インドネシア・タイにおいても売上を伸ばし、全体として前年同期を上回りました。

この結果、部門全体では前年同期の売上を上回りました。

■デルモンテ部門

当部門は、アジア・オセアニア地域で、フルーツ缶詰・コーン製品、トマトケチャップ等を製造・販売しております。中国の伸びが全体を牽引し、部門全体で前年同期の売上を上回りました。

■その他食料品部門

当部門は、主に北米地域において、健康食品を製造・販売しております。部門全体では前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、海外 食料品製造・販売事業の売上収益は857億7千8百万円（前年同期比115.8%）、事業利益は182億9千6百万円（前年同期比117.6%）と、増収増益となりました。

(海外 食料品卸売事業)

当事業は、国内外において、東洋食品等を仕入れ、販売しております。

北米では、新型コロナウイルス感染症による規制が緩和され外食需要が回復してきていることから、前年同期を上回りました。また、欧州、アジア・オセアニアでも同様の理由により前年同期を上回りました。この結果、卸売事業全体では前年同期の売上を上回りました。

この結果、海外 食料品卸売事業の売上収益は1,907億4千1百万円（前年同期比133.1%）、事業利益は138億6千8百万円（前年同期比178.3%）と、増収増益となりました。

以上の結果、当第3四半期の連結業績は、売上収益は3,848億6千万円（前年同期比117.9%）、事業利益は442億6千6百万円（前年同期比127.6%）、営業利益は431億8千4百万円（前年同期比123.7%）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は333億5千4百万円（前年同期比128.7%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、2,160億3千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ236億8千9百万円増加いたしました。これは主に、営業債権及びその他の債権、棚卸資産が増加したことによるものであります。非流動資産は、2,549億6千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ88億2百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産及びその他の金融資産（非流動）が増加したことによるものであります。

この結果、資産は、4,710億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ324億9千2百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、747億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億6百万円増加いたしました。これは主に、未払法人所得税等が増加したことによるものであります。非流動負債は、535億7千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億7千5百万円増加いたしました。これは主に、リース負債が増加したことによるものであります。

この結果、負債は、1,282億7千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億8千1百万円増加いたしました。

(資本)

当第3四半期連結会計期間末における資本は、3,427億2千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ292億1千1百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は71.5%（前連結会計年度末は70.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、最近の2022年3月期第2四半期決算短信（2021年11月5日発表）により開示を行った業績予想から変更はありません。なお、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書（2021年6月22日提出）により開示を行った内容から重要な変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	55,678	57,422
営業債権及びその他の債権	62,579	73,386
棚卸資産	63,085	72,163
その他の金融資産	5,598	3,128
その他の流動資産	5,403	9,935
流動資産合計	192,346	216,036
非流動資産		
有形固定資産	127,077	131,293
投資不動産	9,388	9,309
使用権資産	22,145	22,992
のれん	5,006	5,051
無形資産	5,075	4,922
持分法で会計処理されている投資	3,545	3,781
その他の金融資産	63,267	66,717
退職給付に係る資産	7,440	7,748
繰延税金資産	3,005	2,976
その他の非流動資産	209	171
非流動資産合計	246,162	254,965
資産合計	438,508	471,001

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	50,600	51,269
借入金	3,950	3,989
リース負債	4,967	4,526
未払法人所得税等	4,210	6,671
その他の金融負債	445	1,377
その他の流動負債	8,522	6,867
流動負債合計	72,696	74,702
非流動負債		
借入金	13,400	13,400
リース負債	19,346	20,764
繰延税金負債	8,529	8,292
退職給付に係る負債	5,047	5,124
その他の金融負債	4,067	4,035
その他の非流動負債	1,906	1,955
非流動負債合計	52,297	53,573
負債合計	124,993	128,275
資本		
資本金	11,599	11,599
資本剰余金	13,695	13,696
利益剰余金	267,073	291,719
自己株式	△3,658	△6,172
その他の資本の構成要素	19,420	25,973
親会社の所有者に帰属する持分合計	308,130	336,816
非支配持分	5,384	5,909
資本合計	313,514	342,726
負債及び資本合計	438,508	471,001

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上収益	326,527	384,860
売上原価	209,826	247,975
売上総利益	116,701	136,885
販売費及び一般管理費	82,003	92,619
事業利益	34,697	44,266
その他の収益	3,813	1,797
その他の費用	3,604	2,878
営業利益	34,906	43,184
金融収益	3,538	5,766
金融費用	2,563	2,685
持分法による投資利益	188	245
税引前四半期利益	36,069	46,511
法人所得税費用	9,765	12,770
四半期利益	26,304	33,741
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	25,921	33,354
非支配持分	382	386
四半期利益	26,304	33,741
基本的1株当たり四半期利益(円)	135.03	173.96

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益	26,304	33,741
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	△616	△836
確定給付制度の再測定	△26	115
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	58	20
純損益に振り替えられる可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	△4,538	7,732
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△42	4
税引後その他の包括利益	△5,165	7,036
四半期包括利益	21,138	40,777
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	20,884	40,051
非支配持分	254	726

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2020年4月1日残高	11,599	13,695	240,646	△3,641	△5,453	0
四半期利益			25,921			
その他の包括利益					△4,413	△42
四半期包括利益	—	—	25,921	—	△4,413	△42
自己株式の取得				△12		
自己株式の処分		0		0		
配当金			△8,065			
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			546			
非金融資産等への振替						39
その他の増減						
所有者との取引額等合計	—	0	△7,519	△12	—	39
2020年12月31日残高	11,599	13,695	259,049	△3,654	△9,867	△3

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
	その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	確定給付制度の再測定	合計			
2020年4月1日残高	15,411	—	9,958	272,258	5,285	277,543
四半期利益			—	25,921	382	26,304
その他の包括利益	△545	△35	△5,037	△5,037	△128	△5,165
四半期包括利益	△545	△35	△5,037	20,884	254	21,138
自己株式の取得			—	△12		△12
自己株式の処分			—	0		0
配当金			—	△8,065	△295	△8,361
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△582	35	△546	—		—
非金融資産等への振替			39	39		39
その他の増減			—	—	107	107
所有者との取引額等合計	△582	35	△507	△8,038	△188	△8,226
2020年12月31日残高	14,283	—	4,412	285,103	5,351	290,454

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2021年4月1日残高	11,599	13,695	267,073	△3,658	2,308	23
四半期利益			33,354			
その他の包括利益					7,392	4
四半期包括利益	—	—	33,354	—	7,392	4
自己株式の取得				△2,513		
自己株式の処分		0		0		
配当金			△8,825			
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			116			
非金融資産等への振替						△26
持分法適用会社に対する持分変動に伴う自己株式の増減				△0		
その他の増減						
所有者との取引額等合計	—	0	△8,708	△2,513	—	△26
2021年12月31日残高	11,599	13,696	291,719	△6,172	9,700	2

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
	その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	確定給付制度の再測定	合計			
2021年4月1日残高	17,088	—	19,420	308,130	5,384	313,514
四半期利益			—	33,354	386	33,741
その他の包括利益	△806	105	6,696	6,696	339	7,036
四半期包括利益	△806	105	6,696	40,051	726	40,777
自己株式の取得			—	△2,513		△2,513
自己株式の処分			—	0		0
配当金			—	△8,825	△201	△9,027
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△11	△105	△116	—		—
非金融資産等への振替			△26	△26		△26
持分法適用会社に対する持分変動に伴う自己株式の増減			—	△0		△0
その他の増減			—	—	△0	△0
所有者との取引額等合計	△11	△105	△142	△11,364	△201	△11,566
2021年12月31日残高	16,271	—	25,973	336,816	5,909	342,726

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。報告セグメントの決定にあたっては事業セグメントの集約を行っていません。

当社は、持株会社として主に、グループ戦略の立案、事業会社の統括管理を行っており、その下で、国内は事業会社を食料品の製造及び販売を主とする事業とそれ以外に区分し、海外は持株会社の海外管理部門が事業会社を食料品製造・販売事業と東洋食品の卸売を行う事業に区分し管理しております。

したがって、当社グループは、国内、海外の地域と事業の種類が複合された報告セグメントから構成されており、「国内 食料品製造・販売事業」、「国内 その他事業」、「海外 食料品製造・販売事業」及び「海外 食料品卸売事業」の4つを報告セグメントとしております。

「国内 食料品製造・販売事業」は、国内においてしょうゆ・食品・飲料・酒類の製造・販売を行っており、「国内 その他事業」は、医薬品・化成品等の製造・販売、不動産賃貸、運送事業及び間接業務の提供等を行っております。「海外 食料品製造・販売事業」は、海外においてしょうゆ・デルモンテ製品・健康食品の製造・販売を行い、また、海外向けの輸出販売を行っております。「海外 食料品卸売事業」は、国内外において、東洋食品等を仕入れ、販売しております。

(2) 報告セグメントに関する情報

報告セグメントの利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除した金額である事業利益を使用しております。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報は以下の通りです。

前第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	連結
	国内食料品 製造・販売	国内 その他	海外食料品 製造・販売	海外食料品 卸売	計		
売上収益							
外部顧客への売上収益	113,062	5,518	64,983	142,963	326,527	—	326,527
セグメント間の売上 収益	2,166	10,462	9,093	349	22,071	△22,071	—
合計	115,229	15,980	74,076	143,313	348,599	△22,071	326,527
セグメント利益	10,531	1,466	15,562	7,776	35,336	△638	34,697
その他の収益	—	—	—	—	—	—	3,813
その他の費用	—	—	—	—	—	—	3,604
金融収益	—	—	—	—	—	—	3,538
金融費用	—	—	—	—	—	—	2,563
持分法による投資利益	—	—	—	—	—	—	188
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	36,069

(注) セグメント利益の調整額は、主として全社費用配賦差額であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	連結
	国内食料品 製造・販売	国内 その他	海外食料品 製造・販売	海外食料品 卸売	計		
売上収益							
外部顧客への売上収益	114,237	5,706	74,343	190,573	384,860	—	384,860
セグメント間の売上収 益	2,223	10,472	11,435	167	24,299	△24,299	—
合計	116,461	16,179	85,778	190,741	409,160	△24,299	384,860
セグメント利益	11,178	1,449	18,296	13,868	44,794	△528	44,266
その他の収益	—	—	—	—	—	—	1,797
その他の費用	—	—	—	—	—	—	2,878
金融収益	—	—	—	—	—	—	5,766
金融費用	—	—	—	—	—	—	2,685
持分法による投資利益	—	—	—	—	—	—	245
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	46,511

(注) セグメント利益の調整額は、主として全社費用配賦差額であります。